

日本分析化学会第70年会 オンライン講演申込スケジュール

日本分析化学会第70年会は、下記のとおりオンライン開催することになりました。本年会では日本分析化学会用にカスタマイズされたオンライン登録システム(Web)を使用します。講演募集の概要は本誌5月号の「お知らせ」欄に掲載の予定です。

本年会の講演申込及び講演要旨入力はすべてオンライン(Web)上から申込者が行う形式です。講演申込のスケジュールは下記を予定しております。

講演要旨集はWeb上での電子配布といたします。講演要旨は1講演A4判1頁です。詳細は本誌5月号及び年会ホームページ(4月中旬に公開予定)でお知らせいたします。

期日 9月22日(水)～24日(金)

会場 オンライン開催

講演申込開始 4月30日(金) 予定

講演申込締切 6月16日(水)

要旨本文締切 7月14日(水)

参加登録費 予約：会員9,000円、学生会員3,000円、会員外16,000円、会員外学生5,000円〔予約外：会員12,000円、学生会員4,500円、会員外18,000円、会員外学生6,000円〕

オンライン交流会 参加登録者は、無料で参加できます。

日本分析化学会ホームページ <https://www.jsac.jp>

(LC分析士三段, LC/MS分析士五段)

7. 総括「LC及びLC/MS分析効率化の方法」(16.25～17.00)
(東京理科大学) 中村 洋

(LC分析士五段, LC/MS分析士五段)

参加費 LC研究懇談会会員1,000円、協賛学会(日本分析化学会、日本薬学会、日本化学会)会員3,000円、その他4,000円、学生1,000円。参加申込締切後の受付はできませんので、ご了承ください。

情報交換会 講演終了後、講師を交えて情報交換会を開催します(会費1,000円)。締切後のご参加はできませんので、参加希望者は必ず事前にお申込みください。

参加申込及び参加費等納入締切日 5月20日(木)

申込方法 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先(電話番号)、LC会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上、お申込みください。参加費の納入が確認できた方には、5月21日以降に①例会サイト入場URLと②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします。又、情報交換会参加費納入者には、③情報交換会サイト入場URLをお知らせいたします。

申込先 <https://forms.gle/yWCoNUo65qL23enT8>

銀行送金先 りそな銀行 五反田支店(普通)0802349 口座名 シヤ)ニホンブンセキカガクカイ [公益社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合せ先 (公社)日本分析化学会LC研究懇談会〔世話人 E-mail: sho-shimaguchi@fumakilla.co.jp〕

第359回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

民間企業等における分析の現場では、再現性の高い結果が迅速に得られる簡便な分析法を求められるシーンが多くあります。しかし日常の業務に追われる中では、分析法の迅速化・簡便化に関してじっくり取り組むことが難しい方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、そうした分析法開発のヒントとなる手法を幅広くご紹介いただきます。

期日 5月27日(木) 13.00～17.00

会場 Zoom オンライン例会

講演主題 上手い、易い、速い! LC及びLC/MS分析効率化の方法について

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13.00～13.05)

(フマキラー(株)) 嶋口 翔(LC分析士初段)

1. 今すぐ出来るHPLCの高速化(13.05～13.35)

(アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹(LC分析士四段, LC/MS分析士二段)

2. LCを用いる分取精製のコツと効率化(13.35～14.05)

(東ソー(株)) 伊藤誠治(LC分析士五段, LC/MS分析士二段)

3. 明日からできるLC, LC/MSにおける再現性向上と時短テク(14.05～14.35)

(日本分光(株)) 寺田明孝(LC分析士三段, LC/MS分析士二段, IC分析士初段)

4. Deep Learningによるピーク検出がもたらすLC/MSデータ処理の効率化(14.35～15.05)

(株島津製作所) 岡本真美(LC/MS分析士三段)

休憩(15.05～15.25)

5. タンパク質分析を容易にしたいカラム技術開発(15.25～15.55)

(信和化工(株)) 小林宏資(LC分析士三段, LC/MS分析士初段)

6. 迅速な分析がもたらすメリット・デメリット(15.55～16.25)

(株東レリサーチセンター) 竹澤正明

第27回化学安全講習会

主催 (公社)日本化学会近畿支部

協賛 (公社)日本分析化学会近畿支部ほか

期日 6月1日(火)・2日(水)

会場 大阪科学技術センター

プログラム

第1日(1日10.00～16.00)

1. 化学物質の発火・爆発危険性について

(産総研) 松永猛裕

2. 世界の化学品規制の潮流～アジア(中・韓・台)・日本・欧州・米国を中心に～(住化分析センター) 林まき子

3. アクリル酸プラン事故の再発防止の取組み

(日本触媒) 齊藤 群

第2日(2日10.00～16.30)

4. 事故事例から考える実験室・作業場の安全管理

(阪大安全衛生管理部) 山本 仁

5. 実験室・作業場における化学物質のリスクアセスメント

(阪大安全衛生管理部) 山本 仁

6. 実験で紹介する静電気安全対策の基礎

(SL経営) 蒲池正之介

参加費・申込方法 詳細は<https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen21.html>をご参照ください。

申込締切 5月13日(木)

申込・問合せ先 〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 (公社)日本化学会近畿支部〔電話:06-6441-5531, FAX:06-6443-6685, E-mail:csjevent@kinki.chemistry.or.jp〕

第88回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会 第116回計測自動制御学会力学量計測部会 第38回合同シンポジウム

主催 (公社)日本分析化学会有機微量分析研究懇談会

共催 (公社)計測自動制御学会力学量計測部会

協賛 (公社)日本分析化学会, (公社)日本化学会, (公社)日

本葉学会
 期日 6月17日(木)・18日(金)
 会場 オンライン
 内容 特別講演・一般講演(口頭発表)
 事前参加登録締切 5月21日(金)必着
 参加登録費 主催・共催及び協賛学会会員:4,000円(5月21日(金)まで), 5,000円(5月22日(土)以降), 非会員:6,000円, 学生:2,000円
 申込・問合せ先 〒819-0395 福岡市西区元岡744 ウエスト1号館B-206号室 九州大学大学院理学研究院中央元素分析所 平野雄一〔電話・FAX:092-802-6247, E-mail:symposium2021@sci.kyushu-u.ac.jp〕
 最新情報や連絡事項などを、大会専用のホームページ(http://www.scc.kyushu-u.ac.jp/EA/2021_TOP.html)に掲載しております。

会費:【事前登録】一般:6,000円, 学生:4,000円。【当日登録】一般:7,000円, 学生:5,000円
 事前参加登録申込方法 日本化学会東北支部ホームページ(<http://tohoku.chemistry.or.jp/>)にて案内(4月上旬頃公開予定)
 問合せ先 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学多元物質科学研究所 和田研究室(公社)日本化学会東北支部事務局(担当:千葉依巳)〔電話・FAX:022-224-3883, E-mail:nikka.tohoku@chemistry.or.jp〕
 HP:<http://tohoku.chemistry.or.jp/>
 ※新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催に変更する可能性があります。変更などの詳細は、日本化学会東北支部ホームページ(<http://tohoku.chemistry.or.jp/>)にてご確認ください。

令和3年度化学系学協会東北大会

主催 日本化学会東北支部
 共催 高分子学会東北支部, 日本分析化学会東北支部, 化学工学会東北支部, 有機合成化学協会東北支部, 電気化学会東北支部, 日本材料学会東北支部, 繊維学会東北北海道支部, 無機マテリアル学会北部支部, 分子科学会東北地区, 高等学校文化連盟全国自然科学専門部, 日本大学
 期日 10月2日(土)~3日(日)
 会場 日本大学工学部〔福島県郡山市田村町徳定字中河原1, 交通:1. JR郡山駅から福島交通バス3番ポール「昭和町経由日本大学」行き「日本大学」下車(約20分)。2. JR安積永盛駅から徒歩15分。3. タクシー JR郡山駅~日本大学工学部:約15分)
<https://www.ce.nihon-u.ac.jp/access/>
 講演
 1. 一般講演:ポスター発表
 2. 特別講演:日本化学会東北支部の推薦によるテーマで3件
 3. 招待講演:各学協会からの推薦による現在脚光を浴びているテーマ
 4. 依頼講演:各学協会からの推薦による研究者講演
 5. 特別企画:化学教育研究協議会東北大会, 有機化学コロキウム, 高分子コロキウム, 物理化学コロキウム
 ※口頭発表は講演者持参のコンピュータによりプロジェクトを利用
 発表申込開始 4月上旬(予定)
 参加登録申込開始 4月上旬(予定)
 発表申込締切 5月28日(金)
 発表予稿原稿締切 8月6日(金)
 事前参加登録申込締切 8月27日(金)
 (オンライン開催に変更の場合, ポスターデータPDF, ショートプレゼンテーションパワーポイント等のオンライン開催に必要なデータの締切:9月3日(金)(予定))
 発表申込方法 日本化学会東北支部ホームページ(<http://tohoku.chemistry.or.jp/>)にて案内(4月上旬頃公開予定)
 参加登録費
 【事前登録】一般:4,000円, 小・中・高教員:2,000円, 大学院生:2,000円, 高校生, 高専生, 学部生:無料(いずれも予稿集代を含む)
 【当日登録】一般:5,000円, 小・中・高教員:3,000円, 大学院生:3,000円, 高校生, 高専生, 学部生:無料(いずれも予稿集代を含む)
 懇親会 10月2日(土)18時より, 郡山ビューホテルアネックスにて

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

21-1 NMR 研究会

主催 (公社)高分子学会 NMR 研究会
期日 5月13日(木)
会場 オンライン開催
ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>
連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F (公社)高分子学会 NMR 研究会係 [電話: 03-5540-3770, FAX: 03-5540-3737]

日本顕微鏡学会第77回学術講演会

主催 (公社)日本顕微鏡学会
期日 6月14日(月)~16日(水)
会場 つくば国際会議場
ホームページ <http://conference.wdc-jp.com/microscopy/conf2021/index.html>
連絡先 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター 日本顕微鏡学会第77回学術講演会ヘルプデスク [FAX: 03-5227-8632, E-mail: jsm-desk@bunken.co.jp]

第18回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム

主催 ホスト-ゲスト・超分子化学研究会
期日 6月26日(土)・27日(日)
会場 オンライン開催
ホームページ <http://www.chem.eng.osaka-u.ac.jp/mol3/shgsc2020/index.html>
連絡先 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 木田研究室 実行委員長: 木田 敏之, 事務局: 重光 孟 [電話: 06-6879-7920, Fax: 06-6879-7923, E-mail: shgsc2021@chem.eng.osaka-u.ac.jp]

第241回西山記念技術講座 「先端鉄鋼製精錬プロセス技術における基礎と実践研究」

主催 (一社)日本鉄鋼協会
期日 6月30日(水)
会場 オンライン開催
ホームページ <https://www.isij.or.jp/event/event2021/20210630.html>
連絡先 (一社)日本鉄鋼協会 育成グループ [電話: 03-3669-5933, FAX: 03-3669-5934, E-mail: educact@isij.or.jp]

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に付ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目: 「技術紹介」
2. 対象: 以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性: 本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先: 日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail: bunseki@jsac.or.jp]

第 81 回 分析化学 討論会

標記討論会は、下記のように開催します。本討論会に参加される方、全員参加登録をしていただきます。オンライン参加申込登録はお支払方法により締切日が異なりますのでご注意ください。詳細は実行委員会ホームページ（以下、討論会 HP と略）を参照ください。

討論会 HP

<http://conference.jsac.jp/81touron/>

会期 5月22日（土）・23日（日）

日程 5月22日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、若手講演（ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、産業界 R&D 紹介講演（ポスター）、依頼講演、ランチタイムオンラインセミナー、オンライン交流会、機器展示会

5月23日：主題講演（口頭）、一般講演（口頭、ポスター）、テクノレビュー講演（口頭、ポスター）、高校生ポスター発表、依頼講演、ランチタイムオンラインセミナー、機器展示会

※日程は変更する場合があります。

会場 Web を利用したオンライン開催

オンライン交流会 5月22日（土）18時～20時（予定）

【参加予約申込方法】

以下の注意事項を熟読のうえ、申込締切期日までに参加予約申込をしてください。Web 参加予約申込のお支払最終締切日は4月26日（月）です（但し、クレジット決済のみ）。

1. 参加登録料などの諸費用は、一切返金できません。
2. 見積書、納品書、請求書は、原則として発行致しません。必要な方は、申込者において所定の書類を作成のうえ、返信用封筒（切手貼付）を同封して分析化学討論会ヘルプデスクあてお送りください。記名、捺印のみして返送いたします。電話、メールでの書類作成依頼には応じかねます。

参加予約申込締切日

※お支払方法により締切日が異なります。

郵便振替 Web 申込締切： 4月14日（水）14時厳守

郵便振替払込締切： 4月19日（月）

コンビニ決済 Web 申込締切：4月20日（火）14時厳守

コンビニ決済最終入金締切：4月23日（金）

クレジット決済 Web 申込締切：4月26日（月）14時厳守

参加登録料

予約登録：会員 9,000 円、学生会員 3,000 円、会員外 16,000 円、会員外学生 5,000 円

（ご注意）

- ・会員には団体会員（維持会員）に所属する方を含みますが、特別会員及び公益会員の場合は、1名に限り会員扱いとなります。
- ・会員の方の参加登録料は不課税扱いです。会員外、

会員外学生は税込金額です。

・予約登録締切後の通常登録はクレジット決済 Web 申込のみで5月21日（金）14時まで受け付けます。

通常参加登録料：会員 12,000 円、学生会員 4,500 円、会員外 18,000 円、会員外学生 6,000 円

【討論会参加登録費用領収書発行】

参加登録費用の領収書については、PDF による発行となります。決済完了後に申込システムより取得いただけます。

【Web 版講演要旨集の閲覧方法】

・本討論会へ参加登録をされた皆様は、5月8日以降、参加登録番号と参加申込に使用されたメールアドレスで閲覧・ダウンロードができます。

・6月22日（火）14時まで閲覧・ダウンロードが可能です。6月23日以降は閲覧できません。

・スマートフォン等の機器では正しく表示されない場合があります。ご了承ください。

【オンライン講演について】

本討論会では、口頭発表・ポスター発表ともにオンラインで実施いたします。詳細は討論会 HP を参照のうえ準備してください。

【講演要旨集の発行日について】

第 81 回分析化学討論会 Web 要旨集の発行日は、2021年5月8日です。特許出願の際は、特許庁ホームページを参照のうえ、専門家である弁理士にご相談ください。

<https://www.jpo.go.jp/index.html>

本要旨集に掲載されたものについての著作権は、公益社団法人日本分析化学会に帰属します。

【各種お問い合わせ先】

1. 第 81 回討論会ヘルプデスク

講演申込など Web システムに関する質問

E-mail：jsac-touron@bunken.co.jp

電話：03-6824-9368（株）国際文献社内

注）電話対応時間は土日、祝日を除く営業日の9時～12時、13時～17時です。

2. 第 81 回分析化学討論会実行委員会事務局

討論会全般に関する質問

〒992-8510 米沢市城南3丁目4-16

山形大学大学院理工学研究科

実行委員長 遠藤 昌敏

E-mail：81touron2021@gp.yz.yamagata-u.ac.jp

X-ray Structure Analysis Online

Vol. 37 Part 3
March 2021

— CONTENTS —

Synthesis and Crystal Structure of (μ -Acetato)bis(μ -Alkoxo)dicobalt(II, III) Complex with an Unsymmetric Dinucleating Ligand

Naho SHINDE, Ryunosuke HANDA, Hideki FURUTACHI, Yoko SAKATA, Shigehisa AKINE, Shuhei FUJINAMI, and Masatatsu SUZUKI

13

Crystal Structure of [1¹,1⁴,1⁷,1¹⁰,5¹,5⁴,5⁷,5¹⁰-Octaaza-1,5(1,4)-dicyclododecana-3,7(1,3)-dibenzenacyclooctaphane]zinc(II) tetrakis(nitrate), [*m,m*-bis(ZnII-cyclen)](NO₃)₄

Yoshimi ICHIMARU, Wanchun JIN, Yoshihiro YAMAGUCHI, Kirara SUGIURA, Masanori IMAI, Hiromasa KUROSAKI, Haruto FUJIOKA, Tohru KOIKE, Yuhzo HIEDA, and Koichi KATO

15

~~~~~

## 求人・求職

### 求人

#### H 2021004 北海道大学大学院理学研究院化学部門 教員公募

公募人員：教授1名。専門分野：無機化学分野。応募資格：博士の学位を有すること。着任時期：令和3年10月1日以降できるだけ早い時期。提出書類：下記HP参照のこと。公募締切：令和3年5月11日。書類提出・問合せ：〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目北海道大学大学院理学研究院化学部門人事選考委員会委員長 村上洋太〔電話：011-706-3813, E-mail: yota@sci.hokudai.ac.jp〕詳細は<https://www2.sci.hokudai.ac.jp/dept/chem/topic/1597>をご覧ください。

#### H 2021005 九州大学大学院農学研究院食品分析学分野准教授の公募

募集人員：准教授・1名。所属・専門分野：九州大学大学院農学研究院・生命機能科学部門・食料化学工学講座食品分析学分野。採用予定時期：令和3年10月1日（予定）。公募締切：令和3年4月30日（金）正午必着。書類提出・問合せ：九州大学大学院農学研究院食品分析学分野准教授候補者選考委員会委員長 竹川 薫〔電話：092-802-4732, E-mail: takegawa.kaoru.919@m.kyushu-u.ac.jp〕詳細は<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/news/file/p210224.pdf>をご覧ください。